

古代学学術研究センター・研究会

遷都から見る日本史

日時： 8月29日（月）14:00～16:00

会場： 奈良女子大学S棟3階 327演習室

報告： 福原遷都と「帝都」観の変容

森 由紀恵（日本学術振興会特別研究員）

古代学学術研究センターでは、昨年度より〈遷都〉をひとつの緒として日本史をとらえなおそうと、議論を重ねてまいりました。本研究会はその一環として、昨年度もご協力をいただきました森由紀恵さんに、以下のような視点からご報告いただきます。

福原遷都は、都の所在が定まらない中で「帝都」のありようを論じる初めての歴史的体験と位置づける事ができる。本報告では、福原遷都期に都をめぐる認識が多角化している実態を確認し、福原遷都が「帝都」観にもたらした変化について考察する。

そのご報告をふまえ、新たな論点も加味して、次には公開で研究会を実施する予定です。みなさまの積極的な議論へのご参加をお待ちしていますので、よろしくお願いいたします。

研究会の企画相談会を兼ねて開催しますので、参加者は奈良女子大学の教員・大学院生・学生・研究員に限らせていただきます。

問い合わせ先：奈良女子大学 館野和己研究室（0742-20-3307）